信濃毎日新聞
2022年（令和4年）2月2日 水曜日 経済

食を伝える仕事にやりがいを

ミールケア（長野市）常務取締役 田子（たご） 美津子（みつこ）さん（55）

管理栄養士の資格を取得し、給食受託サービスのミールケア（長野市）に入社して18年。常務取締役の田子美津子さん（55）は、受託先の保育施設や自社のパン店で活躍する後進の育成に力を入れている。パートを含む1800人の従業員のうち8割以上が女性。「それぞれの成長を間近で見守ることが大切」。日々現場で後輩たちを見つめ、やりがいや楽しさを伝えている。

新潟県妙高高原町（現妙高市）出身。同県にある北里大保健衛生専門学院を卒業後、長野市の食品会社で働いたが結婚を機に退職した。長女が小学校に上がった30歳の時、同市内の乳業メーカーにパート従業員として再就職。「もっと仕事の幅を広げたい」と、管理栄養士資格の取得を目指した。

「ここで踏ん張らないと次のチャンスはない」。仕事と家事の合間を縫って図書館に通い、次女を保育園に迎えに行く直前まで勉強。夫や義理の両親の支えもあり5年で合格し、給食サービスで事業を拡大するミールケアに入社した。

配属された病院では入院患者の献立作りを担い、同僚の調理師など約30人を率いた。面倒見の良さやリーダーシップが認められ、4年後に本社の栄養管理室長に抜てき。現場の管理栄養士らの相談に応じる傍ら、給食の食材をインターネットで発注するシステムを業者と作った。

保育園や幼稚園の給食受託が増えているため、同社は近年、食育の専門知識を身に付けた人を「考食師（こうしょくし）」に認定する事業に力を入れている。社内には管理栄養士が85人、栄養士が251人、調理師が461人。一人でも多く考食師になって、子どもや保護者に食について分かりやすく伝える仕事に「やりがいを持ってほしい」と願う。

昨年10月、本社機能がある同市穂保の「み～るんヴィレッジ」内に直営ベーカリーショップが開業すると、外食部門の取りまとめを任された。従業員と店頭に立ち、大雪が降った朝は日の出前から駐車場の雪かきに汗を流す。「ミールケアのブランドを創出するのは一人一人の『人』だと思う」。信念を確かめるように語った。

#マイ・ストーリー

経済 信州発